



ゆ〜かい〜ぶす 18号

兵庫高等学校第2学年

「物知り」になろう

7組担任 T. Y.

今年のセンター試験第6問は、音響技術に関する英文だった。今の高校生には hi-fi とかカーラジオとか、まして蓄音機などと言われても、ピンと来ないだろうなあと思いながら読んでいた。難しい単語も多くはなく、構文もシンプルなので、読みにくい文章ではない。まだ読んだことがないという人は、ぜひ一度読んでみてほしい。内容をどの程度理解できるだろうか。

英語でも日本語でも、文章の話題に関する予備知識の有無は読解の精度を大きく左右する。来年のセンター試験で、地雷除去運動やら Team Hoyt の話が出題されたら、皆さんは大喜びだろう。国語では『源氏物語』が出題されたが、大まかにでもストーリーを知っていれば、問題文を読み進める際に大きな助けになっただろう。

皆さんは「物知り」になる必要がある。いろいろなことを幅広く知っていることで、入ってくる情報を、自分の持っている知識とつなぎ合わせて、より深く理解することができる。新聞を読み、ニュースを見て、もちろん授業も活用して、幅広い知識を吸収してほしい。

人権学習—インビクタス 負けざる者たち 2014/3/17

5組 T. S.

人の信頼を得るには、まず自分が他人を許すことが大切なんだと思いました。あの大統領はすごいリーダーだったと思います。周りがよく見えていて、会う人会う人に声をかけて笑顔の絶えない人でした。黒人と白人との壁は相当厚かったと思います。それをどのようにして解決するかをよく知っている人だなと思いました。刑務所に何年も入っていてどうしてあんなに人を許せて、全国民をまとめることができるのかと疑問に思いました。

「私は我が運命の支配者。我が魂の指揮官」という言葉には鳥肌が立ちました。自分の考えがこの言葉で変わりました。この言葉を胸に抱いて、これからの人生を過ごしていけば、何か変わることもあるだろうと思います。

2組 N. Y.

許すことは簡単に思えて、本当は難しいことだと思う。特にこの映画のように、長い間人種差別で苦しめられてた黒人が差別していた白人を許すのは、とても大変なことであったと思う。

マンデラは白人に仕返しをするのではなく、許すことで国を治めていこうとした。仕返しをすれば黒人はすっきりしたかもしれない。しかしマンデラは黒人と白人が対立を解消し、共に生きていける国を作ろうとした。

確かに差別はいけない。もちろんいじめも絶対にだめだし、人を傷つけることはしてはいけない。仕返しをしたところで何も始まらない。許すことが大切で、許すことから次へと進まなければいけないということを学んだ。

7組 F. T.

私はスポーツ観戦には全く興味がなく、テレビで偶然放映されているのを見たとしても、すぐにチャンネルを変えてしまうほどです。しかし今回の映画では、ルールもろくに知らないラグビーであるにもかかわらず、大

変熱心に南アチームを応援してしまいました。

この映画で一番深く感銘を受けたシーンはかなり序盤ですが、大統領が「許す」ことについてボディガードに諭しているシーンです。30年も独房に入れられ、仲間を殺され、それでも「許すこと」がすべての始まりだと説く彼の言葉は非常に心に迫るものでした。また、「白の国」でも「黒の国」でもない「虹の国」を創るという理想のもと、一見それほど重要には見えないことに全身全霊を傾けて対処するその姿は、計り知れないほど大きく見えました。

リーダーとしてどうあるべきなのか、総合科学類型の学生として避けては通れないこの問いのヒントを、この2時間でもらえたように感じます。

6組 M. N.

アパルトヘイトに関してはあまり考えたこともなく、また、マンデラ大統領のことも知らなかった。が、この映画を見て、この人物の素晴らしさを知り、黒人と白人がラグビーというスポーツを通し一つになっていく人間のすごさのようなものに感動した。

白人に一方的に支配されていたにもかかわらず、黒人であるマンデラ大統領は倍返しをしようとは思わず、国を一つにする方向に政治を進められる寛大さや人間性が素晴らしい。この人物がいなければ、今もまだ白人と黒人の対立はあっただろう。また、マンデラ氏の何にでも前向きに考え、何よりもまず人間性を大切に作る姿勢に偉大さも感じた。

スポーツも素晴らしいものだ改めて思った。スポーツは人の心をつなげる不思議な力を持つものだと気付かされた。最後に映画を見てよかった。

4組 T. W.

今回の物語では、たまたまラグビーというスポーツが人種間の対立の溝を埋める役割を果たしていたが、スポーツに限らず何か一つの同じ物事に熱中している人たちの間では、おそらく人種、民族、思想の違いはたいした障壁ではないのだと、この「インビクタス」という映画を見て改めて感じる事ができた。特にスポーツはオリンピックや競技ごとのワールドカップがあり、メディアに取り上

げられることも多いので、それだけ一層多くの人々を一つにできるのだと思う。

また、マンデラ大統領の台詞の一つに「許すということは、最大の武器だ」という内容のものが、それを聞いたときはとても衝撃を受けた。

7組 W. F.

実際に映画を見て、アパルトヘイトというのは本当にこのようなものだったのかと、疑問を抱きました。アパルトヘイトは南アフリカで長い間続いていた体制なので、簡単に白人が黒人主体の政権に従うようになったとは思えません。映画ではあまり深く描かれなかったかもしれませんが、ワールドカップを開催するまでの白人と黒人の隔たりをどのようになくしていったのかが気になりました。正直なところ、こんなにうまくいくものなのか(笑)というのが、見終えた感想です。

ネルソン・マンデラ大統領は信念の人だと思いました。自分の感情だけで物事を考えることなく、常に相手のことも考えて行動する寛大な心があったからこそ、南アフリカにおいて黒人、白人が手を取り合うことができたのだなあと思いました。私も彼のような大きな心をもって、3年次は人と接していきたいと思いました。



9月から二学期間、現代文と古典の授業を担当していただき、お世話になりました二人の先生に、皆さんへのメッセージをお願いしました。

思いを致す一

S. T.

○常一^{つねいち}少年は島の段々畑のそばにある小さな池の中にいる亀を見つけた。亀がこんなに狭い池で一生を送るのはかわいそうだ、川に放してやろうと思い、亀を捕まえて段々畑を下りかけた。しかし常一少年は、ふと思いなおした。亀がかわいそうだ、というのは自分がそう思うだけであって、亀にとってはどんなに狭い池でも、住み慣れた所で過ごすのが一番いいのではなからうか、と。そして亀を池に返してやった。

この常一少年こそ長じて民俗学者になった宮本常一（1907～1981）である。民俗学は民衆の暮らしを見つめ、その知恵と力に思いを致す学問である。兵庫県が生んだ民俗学の泰斗、柳田国男（1875～1962）と並び称される学者である。

○東山魁夷^{がんじんわじょう}画伯が鑑真^{とうしょうだいじ}和上^{みえいどう}の尊像が安置されている奈良唐招提寺の御影堂の数十枚に及ぶ襖^{ふすま}絵の揮毫を依頼されたのは昭和45年のことであった。鑑真和上は天平時代にわが国の招聘に応じて来日した唐の高僧である。幾多の困難を乗り越え、12年の歳月を費やして来日した時、和上は失明していた。

両眼を閉じたその尊像の前に座って画伯は、和上のお気持ちを思いやり、和上が見たかったであろう日本の美しい自然、そして和上の故郷である中国の雄大な自然を描いてさし上げようと心に決める。襖絵は十年近くをかけて完成した。

○松尾芭蕉は鑑真和上の尊像を拝し、そのお心に思いを致して次の句を詠んだ。

若葉^{おんめ}して御目^{めし}の零^{ぬぐ}ぬぐはばや（和上の尊像を拝したが、折からあたりは一面の若葉である。この若葉でもって盲^{めし}いた御目に宿る零^{ぬぐ}を拭^{ぬぐ}ってさし上げたいものだ。）

受け継がれるもの

K. K.

2学期から6ヶ月間、3組・4組・7組文系の古典でお世話になったKです。2学期も途中から教科担当が変わると、ペースが乱れ戸惑うことも多かったと思いますが、前向きに受け入れようとしてくれた皆の熱意に感謝しています。一人ひとりの個性は違っても人と人との関係性から醸し出される雰囲気不思議とクラスによって違っていました。明るく優しい雰囲気で包み込んでくれる3組。伸び伸びとしてエネルギッシュな4組。知的で粘り強い7組文系。・・どのクラスも私にとって思い出深く楽しい6ヶ月でした。

思えば、M先生から突然電話がかかってきた8月末は夫の一周忌を終え、私自身これからの人生に漠然とした不安を抱えている時でした。

夫は退職までの十数年間兵庫高校に勤め、兵庫高校生が大好きでした。

この度皆さんに接し、よく夫の言葉を思い出します。

「1・2年の時の成績は関係ない。兵庫の生徒は3年になって、部活やコーラス大会等に情熱をかけられるからこそ、だからこそ3年で伸びるし受験を勝ち取られる。大事なのは最後は心、気持ちやで」といつも言っていました。

ずっと培われてきた兵庫高校の歴史の上に67回生一人ひとりの特性が加わり浸み込み、その精神が受け継がれていく。そこに兵庫高校生の誇りがあるのだと感じています。

67回生の皆さん、夢をかなえるには勿論努力が必要です。しかし好奇心と向上心を持って、様々な壁を乗り越えて自分の夢がかなえられる喜びを手にいれてほしいと心より願っています。

これからの予定

4 / 8 (火) 着任式・始業式 入学式
放課後： 文化祭クラス参加部門招集 (2・3年)

4 / 9 (水) 午前： 離任式・対面式
午後： 課題実力考査 〈国語〉 80分 ・LHR
放課後： 文化祭クラス参加部門招集 (2・3年)

4 / 10 (木)	文系	理系	
①	英	語	80分
②	数	学	80分
③	化学+物理/生物	物理/生物	
	50分	50分	
昼 休 み			
④	日史/世史	日史	地 理
	50分		50分
	倫理政経オリ エンターション	世史	化 学
			50分
S H R			

放課後： 文化祭クラス参加部門招集 (2・3年)

4 / 11 (金) 歓迎遠足 青少年科学館

4 / 14 (月) 放課後： 部紹介〈講堂〉
文化祭クラス参加部門招集 (2・3年)

4 / 15 (火) 放課後： 部紹介〈講堂〉

4 / 16 (水) 放課後： 各種委員会

4 / 17 (木) 午前： 授業
午後： 身体計測・内科、歯科検診

4 / 26 (土) 文化祭講堂リハーサル

4 / 27 (日) 文化祭準備 (登校日)

4 / 28 (月) 文化祭 (校内)

4 / 29 (火) 文化祭 (一般)

季節の言葉

春 分 しゅんぶん 3月21日

春分とは、太陽が真東から昇り、真西に沈む日のこと。昼と夜が同じ長さになる春分の時期を二十四節気の大きな節目の一つとします。

春分の日を中日に、前後三日を含めた七日間が春のお彼岸です。

毎年よ彼岸の入に寒いのは

正岡子規

☆課題は順調に進んでいますか？

体調を崩さないように気をつけて、始業式の日には晴れやかな笑顔で登校してくださいね☆